国土交通大臣認定　不燃メラミン化粧板

日本デコラックス株式会社

パニート® 施工説明書

このたびはお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
施工前に、この施工説明書をよくお読みのうえ、正しく取り扱いください。
お読みになった後は、大切に保管してください。

ご使用になる前に 安全上のご注意 ～必ずお守りください～

⚠警告 取り扱いを誤った場合、怪我を負うことが想定される内容を表します。

⚠注意 取り扱いを誤った場合、物的損害の発生が想定される内容を表します。

⚠ 警　告

●**２人以上**で運搬してください。 **運搬注意** 二人で運んで下さい	⇒重量物です。身体を痛める恐れがあります。（3×8尺板1枚当り約11.7kg）
●パニート取り扱い時には滑り止め付き**保護手袋**を着用してください。 ●パニートの加工**端部は面取り**を行なってください。	⇒パニートの落下による破損や端部に接触した際、怪我をする恐れがあります。
●加工時には粉塵用**保護マスク、保護メガネ**を着用し十分な**換気**をしてください。 ●室内等の換気の悪い場所では、**集塵機能のついた切断機**を使用するか、換気を良くして作業してください。 ●接着剤、両面テープを使用する際は**換気**してください。	⇒粉塵、破片又は有機溶剤を吸い込み、健康を害する恐れがあります。 また、異常を感じたら直ちに医師の手当てを受けてください。
●**禁止された下地**には施工しないでください。 ●日本デコラックス指定の**接着剤、両面テープ**以外は使用しないでください。 ●**両面テープのみ**で貼り付けはしないでください。	⇒剥がれによる落下の恐れがあります。
●壁面施工用です。**天井や床面へは**使用しないでください。	⇒天井で使用した場合、落下の恐れがあります。 ⇒床面で使用した場合、表面はすべりやすく、転倒する恐れがあります。
●**建築基準法、火災予防条例**に従って施工してください。 ●コンロ廻りでは家庭用調理器具(4,600kcal以下)を使用してください。**業務用調理器具の壁面**には使用しないでください。	⇒火災の原因となります。また、パニートの表面が焦げたり破損する恐れがあります。

⚠ 注　意

●運搬中、折り曲げるような**応力をかけない**でください。 ●**内装壁面用途以外**には使用しないでください。 ●サウナなどの**乾燥室内**や、温泉内壁など**常に湿潤状態**が継続し、**酸やアルカリ成分を含む**ような**厳しい条件が伴う場所**には施工しないでください。 ●パニートに**ビス打ち**しないでください。 ●加工コーナー部分には**R処理**を施してください。	⇒パニートが劣化、破損する恐れがあります。
●地面やコンクリート面には**直接置かず、**厚板やパレットの上に**平積保管**してください。 ●製品の上を歩いたり腰掛けたり物を置かないように注意してください。 ●保管時、**直射日光または水濡れ**するような場所は避けて、屋内の風通しの良い所に保管してください。 ●**立て掛け置き**はしないでください。 ●水平面に置いて反りが10mmを超える製品は施工しないでください。	⇒パニートが反り、施工できなくなる恐れがあります。
●施工用下地は、**当社が推奨する下地**を使用してください。 ●専用接着剤を**均一に塗布**し、**製品の外周**は必ず専用接着剤を塗布してください。 ●**突き付け施工**しないでください。	⇒剥がれ、端部浮き上がりの恐れがあります。

お　願　い

●金属タワシ、ナイロンタワシ、磨き粉など**硬いもので磨かない**でください。 ●酸や、毛染めなどの**薬液がついたまま放置しない**でください。	⇒パニートが劣化したり、光沢が失われる恐れがあります。
●施工後、**強く叩いたり、硬いものをぶつけたり**しないでください。	⇒パニートが破損する恐れがあります。

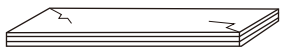
◎本製品は事業者を対象とした業務用製品です。廃棄する場合は、産業廃棄物として適切に処理してください。

一般的な施工の流れ

① 作業準備 ▶ ② 下地処理 ▶ ③ 採寸・割付 ▶ ④ 加工 ▶ ⑤ 両面テープ貼付 専用接着剤塗布 ▶ ⑥ 製品貼付 ▶ ⑦ コーキング ジョイナー施工 ▶ ⑧ 養生・仕上げ

①作業準備

破損、傷の有無を確認



平積み保管

完全防備

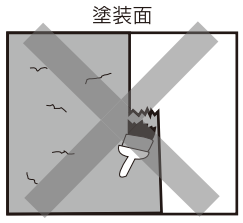
手順	注意点
・施工前に**品番、数量及び輸送上の破損、傷のないこと**をご確認ください。 ・製品の保管時は、屋内の平らな場所に厚板やパレットの上に**平積み**してください。 ・下記工具をご用意ください。	・その後の責任は負いかねますのでご注意ください。 ・**直射日光や水**がかからない様にしてください。

副資材	専用接着剤(キッチン用・バスルーム用)、両面テープ、コーキング剤、ジョイナー、マスキングテープ 腰壁パネル装飾部材など
保護具	保護手袋、保護メガネ、防塵マスク
裁寸・割付	木槌、振り下げ、水準器、差し金、墨つぼ、スケール、メモ用紙、筆記具
加工	電動鋸、ドリル、合板(下敷き用)、ダイヤモンドソーまたは目の細かいチップソー、ホールソー、グラインダー、サンドペーパー、ケガキカッター、ハンディーソー、金ヤスリ
仮止め貼付 接着剤塗布	ウエス、カッターナイフ、コーキングガン
製品貼付	吸盤器
仕上げ	清掃用具、中性洗剤、木ヘラ

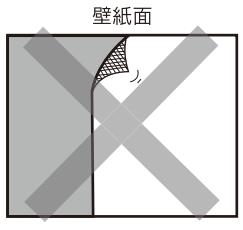
②下地処理

タイル面

塗装面



壁紙面



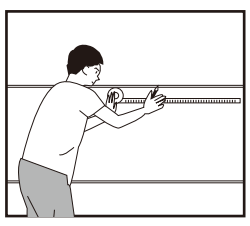
手順	注意点
・パニートの施工が可能か**下地の確認**をしてください。 ・下地材の選定と構造の作成は、**建築基準法や火災予防条例**などに適合するように行なってください。 ・**不陸のないよう**に精度良く仕上げてください。 不陸がある場合は調整ください。 (3mmまで⇒両面テープを重ね貼りする。 3mm以上⇒ボードの捨て貼りで下地を作成する。 ・タイル下地の場合は油汚れ、水垢、皮脂汚れ、石鹸カスなどがないように**清掃**し、洗浄後は**充分乾燥**させてください。	・下地の浮き**上がり、亀裂、破損等の不具合**がないことを**確認**してください。 ・下地施工、プライマー塗布は**材料メーカーが指定(推奨)**する施工方法を厳守してください。 ・プライマーをご使用の際は、充分に換気を行ってください。 ・コニシ株式会社「シールプライマー#7」の乾燥時間の目安は以下の通りです。 また、乾燥後8時間以内にパニートを施工してください。 5℃…60分 23℃…30分 35℃…15分 ・プライマーを塗布した後は、塗布面にゴミ等が付着しないようにしてください。

⚠ 使用禁止下地	推奨下地	下地の条件	
塗装面 壁紙面 ALC躯体への直接貼り RC壁面への直接貼り 発泡断熱材への直接貼り ユニットバス壁面 湿気を帯びた下地 凹凸のある下地	石膏ボード(プラスターボード)	t＝12.5mm以上	
	構造用合板(耐水合板)	t＝9.0mm以上	**プライマーを全面に塗布してください。** 推奨：コニシ株式会社 シールプライマー#7
	珪酸カルシウム板	t＝5.0mm以上	
	繊維強化セメント板	t＝5.0mm以上	
	フレキシブルボード(※浴室施工可能下地)	t＝5.0mm以上	
	浴室以外のモルタル仕上げ面 (含水率4.5％以下、接着強度1.0N/mm²以上、平滑な金ゴテ仕上げ、不陸2mm以下)		**プライマーを全面に塗布してください。** 推奨：コニシ株式会社 シールプライマー#7
	タイル面(※浴室施工可能下地)	浮き上がりのないこと	

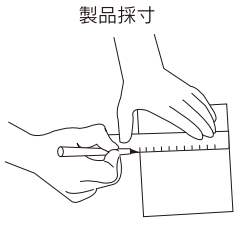
※その他、上記にない下地は必ず当社までお問い合わせください。

③採寸・割付

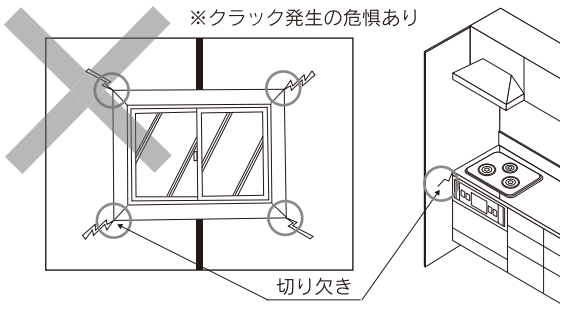
下地採寸

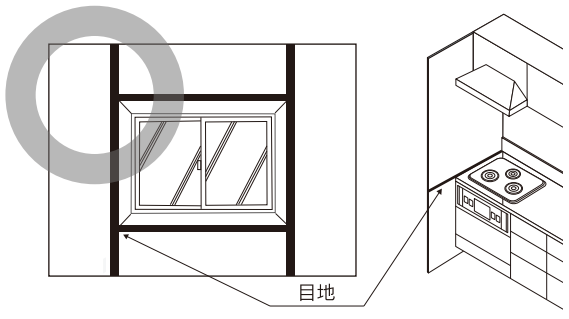


製品採寸

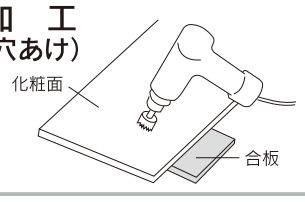


手順	注意点
・納まりを考慮し全体の割付を行なってください。 ・下地の目地とパニートの**目地が重ならない**ようにしてください。 ・パニートの外周に**3mmのクリアランス**を取ってください。	・出窓、もしくはカウンターなどの切り欠き部分は、**製品を分割するセパレート施工**を行なってください。 ・切り欠き部分が、連続するような割付はしないで下さい。 ・**突き付け施工**はしないでください。



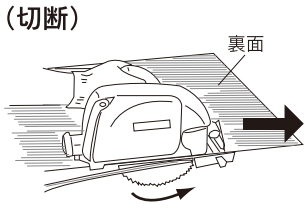


④加工(穴あけ)



手順	注意点
・切り欠き、くり抜きがある場合は、**コーナー部へ12Φ以上の穴**を開けてください。 ・**合板を下敷き**にしてパネルと固定し、電動ドリル、ホールソーを使用し、**化粧面側から**穴を開けてください。	・パニートに直接、釘・ビスを打たないで下さい。ひびわれの原因になります。万が一、打つ場合にはネジ径よりも大きい穴(バカ穴)をあけて下さい。

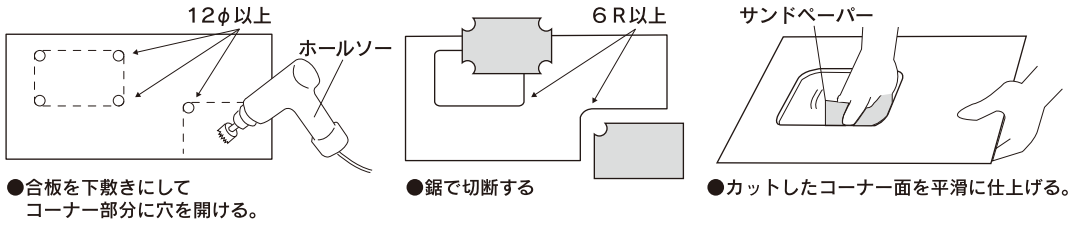
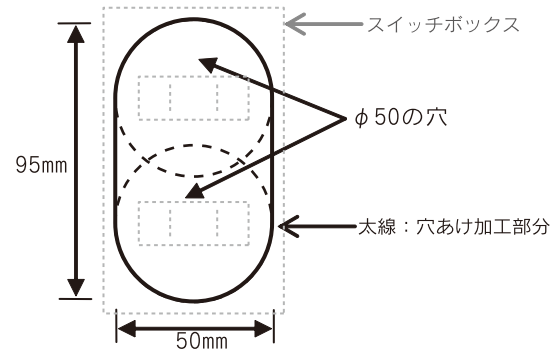
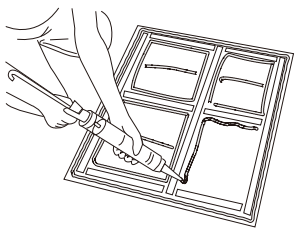
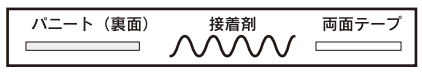
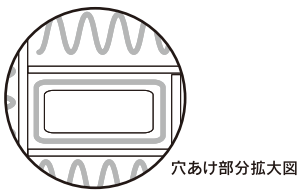
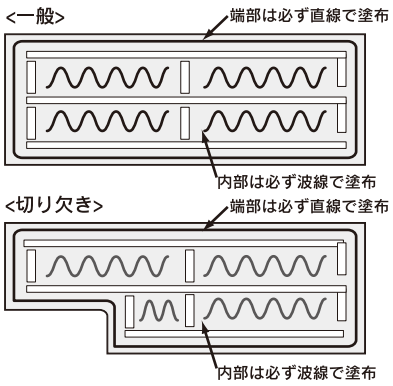
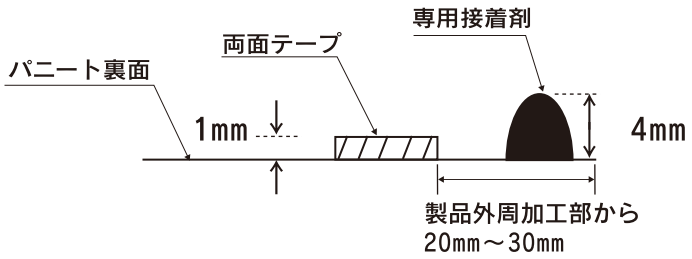
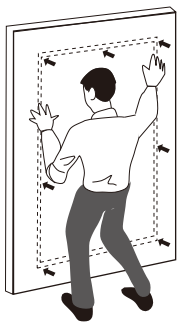
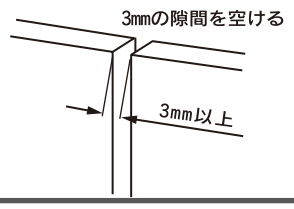
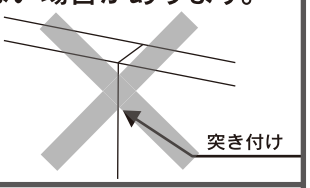
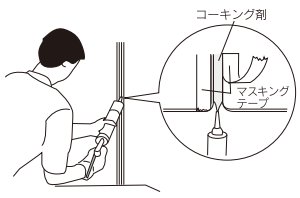
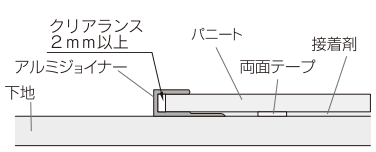
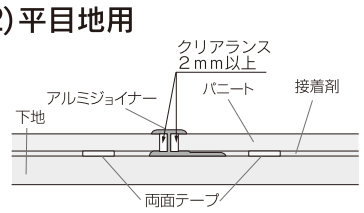
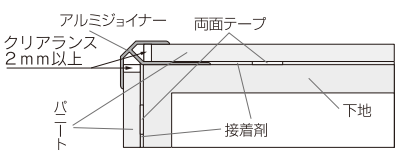
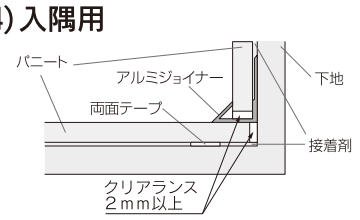
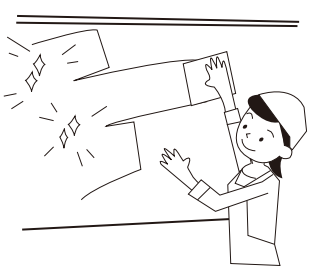
④加工(切断)



手順	注意点
・切断は電動鋸を使用してください。鋸歯は**キッチンパネル用(不燃メラミン化粧板用)**又は**ダイヤモンドソーを使用**してください。 (※木工用のチップソーを使用するとカット面にバリがでます) ・電動鋸を使用の場合、**化粧面を下向き**にしてカットしてください。	・切断時に製品の浮き上がり、振動が無いように固定してください。 ・チップソーを使用する場合は歯数の多い新品の超鋼歯を使用してください。

(仕上げ)

手順	注意点
・加工部分は**鬼目ヤスリ又はサンドペーパー(＃180～320)で面取り**を行ない、平滑に仕上げてください。	

工　程	手　順	注　意　点
【切り欠き・穴あけ加工の注意点】  ※左のような加工をした場合、クラック発生の原因となります。 ※コンセント穴等、パネル貼り付け後の加工が想定される場合は、必ずR処理を申し送りしてください。	【コンセント又はスイッチBOXの穴あけ加工の注意点】  ●φ50以上のホールソーで穴を2カ所開けてグラインダー又はジグソーで連結し切断面を平滑に仕上げる
⑤両面テープ貼付 専用接着剤塗布 	・必ず当社指定の**専用接着剤、両面テープ**を使用してください。 ・製品端部から**20mm～30mm以内**に両面テープを貼ってください。 ・専用接着剤を外周部から10mmひかえた位置と中央部に塗布してください。 ・浴室リフォームの場合は、必ず**バスルーム専用接着剤（1液型エポキシ樹脂系接着剤）**をご使用ください。 （※浴室の施工には防水テープの使用を推奨します。 防水テープ推奨品　コニシ株式会社　VF194）	・両面テープは仮止め材です。**接着目的に使用しない**でください。 ・専用接着剤は**所定の使用量**を守り、**製品の外周**には必ず専用接着剤がくるように塗布してください。 ●使用量目安 部材の種類 / 部材1単位あたりに使用できる製品(3×8尺板)枚数 接着剤(キッチン用) / 1本あたり製品1枚 接着剤(バスルーム用) / 1本あたり製品1枚 コーキング剤 / 約15m（3mm目地とする） 両面テープ / 1巻あたり製品1枚
【標準塗布パターン】     ●開口部・切り欠き部は、仮留めテープ・接着剤により補強して下さい。 （下地側に仮留めテープ貼付・接着剤塗布する場合も同様です）		
⑥製品貼付け 	・専用接着剤塗布後**10分以内**で所定の位置に貼り合わせてください。 ・パニートの外周に**3mmのクリアランス**を取ってください。（パニートの端材をスペーサーとして挟むと便利です。） ・**両面テープの位置**を手で押さえこむようにして、充分接着させてください。 	・両面テープの**離型紙(りけいし)の剥がし忘れ**にご注意ください。 ・一度貼ると**剥がせません。** ・**突き付け施工**はしないでください。 ・全体を強く叩いたり、押さえたりすると接着剤が**「泣き別れ」**を起し、接着しない場合があります。 
⑦コーキング 	・マスキングテープを貼って奥までしっかりとコーキング剤を**注入**してください。 ・ヘラなどを用いて余分なシリコンを**かきとって**ください。 ・マスキングテープを**ゆっくり内側**にはがしてください。	・はみ出し部分はすぐにきれいな**布で拭き取**ってください。
⑦ジョイナー施工	・ジョイナー内クリアランスに**専用接着剤もしくはコーキング剤を注入**してください。 ・浴室施工の場合は水のまわり込みがないように、必ずパニートとジョイナーの隙間に**コーキング剤を注入**してください。	・ジョイナー内で**突き付けにならない**ようにしてください。
1)仕舞用  2)平目地用  3)出隅用  4)入隅用 		
⑧養生・仕上げ 	・パニート及びその副資材に使用した専用接着剤、コーキング剤が硬化するまでは、**24時間**かかります。硬化するまで動かさないでください。 ・表面の汚れは、柔らかい布に水を含ませて**軽く水拭き**してください。尚、**水拭き後は乾拭き**で水分を拭き取ってください。 汚れが取れにくい場合は、アルコール、シンナーなど**有機溶剤**で拭き取ってください。	・モップ・ブラシ等をパネルに強く当てますと、**傷やヘコミの原因**となります。また金属たわし、ナイロンたわし、研磨剤入りの洗剤等を使用すると**表面に傷**が付きます。 ・**酸性又は強アルカリ洗剤等**は、パニートの表面を**変色**させる恐れがありますので使用しないでください。

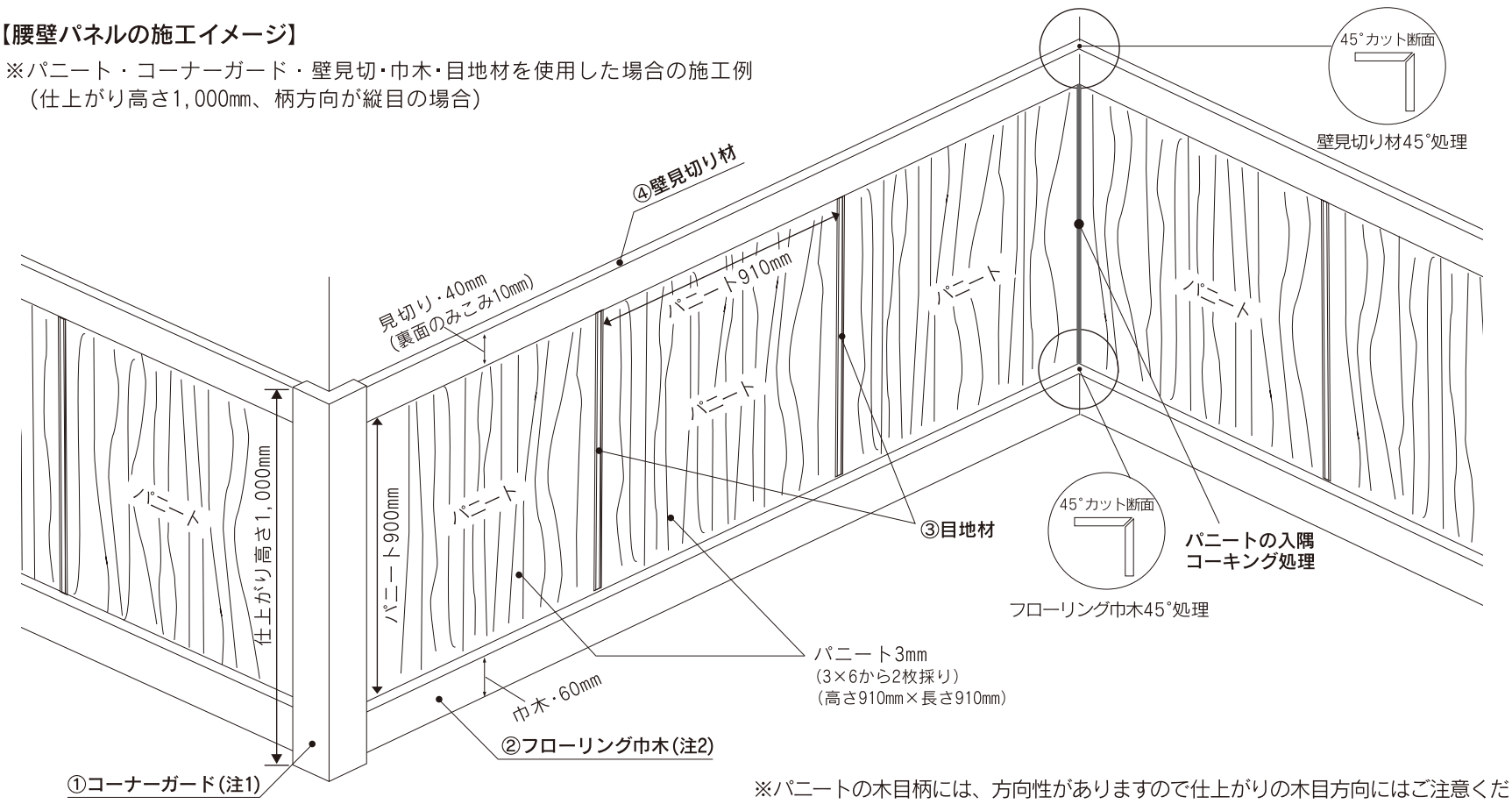
パニート３ｍｍ厚用　腰壁パネル装飾部材の施工方法

●腰壁パネル装飾部材に使用する接着剤、両面テープは「キッチン用接着剤セット」を使用してください。
●パニートの施工前に先ずは**コーナーガード(注1)、フローリング巾木(注2)を直接下地の所定位置に貼り付けます。**

(注意) コーナーガードを必要とする壁面の場合は先にコーナーガードを下地に貼り付けてから次に巾木を貼り付けてください。組合せ不具合に注意してください。

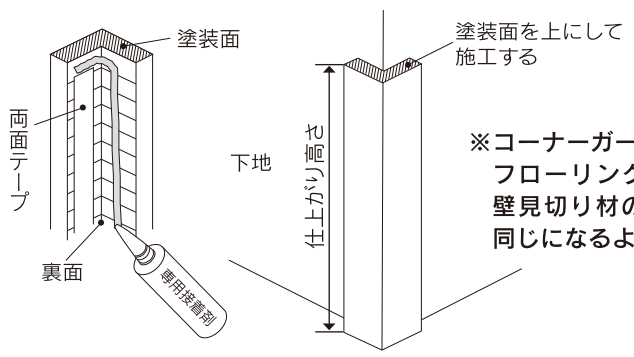
【腰壁パネルの施工イメージ】

※パニート・コーナーガード・壁見切・巾木・目地材を使用した場合の施工例
（仕上がり高さ1,000㎜、柄方向が縦目の場合）



※パニートの木目柄には、方向性がありますので仕上がりの木目方向にはご注意ください。

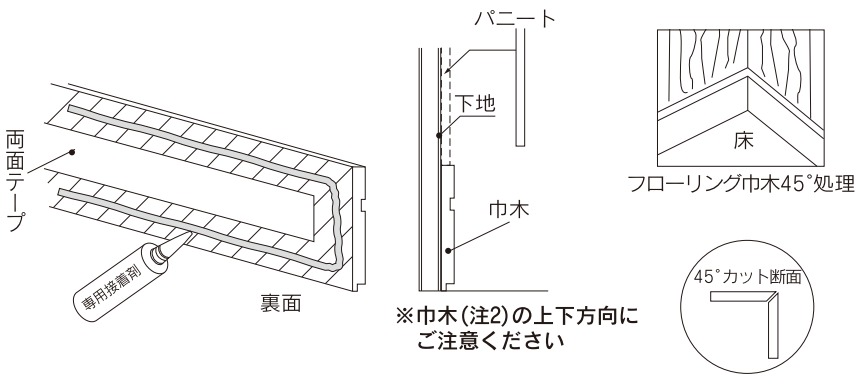
①コーナーガード



※コーナーガード(注1)の高さと
フローリング巾木、パニート、
壁見切り材の仕上がり高さが
同じになるようにしてください。

- コーナーガードの上下端部は塗装がしてありますので、塗装面を上にして施工してください。
- コーナーガードを正寸カットしてください。
- 両面テープをコーナーガード裏面側の片側1方向に貼り付けます。
- 続いて他辺方向に専用接着剤を塗布してから下地に密着させてください。

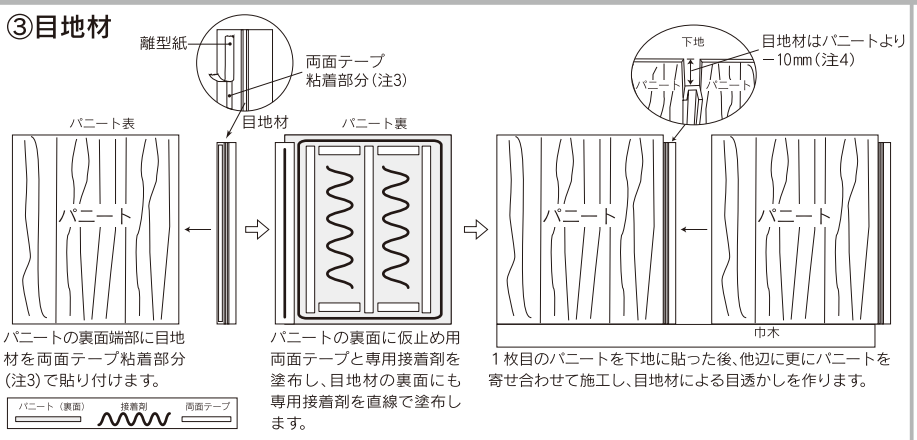
②フローリング巾木



- フローリング巾木を正寸カットしてください。
- 両面テープを巾木裏面側の中央に貼り付けます。
- 続いて端部に専用接着剤を直線に塗布してから、下地に密着させてください。

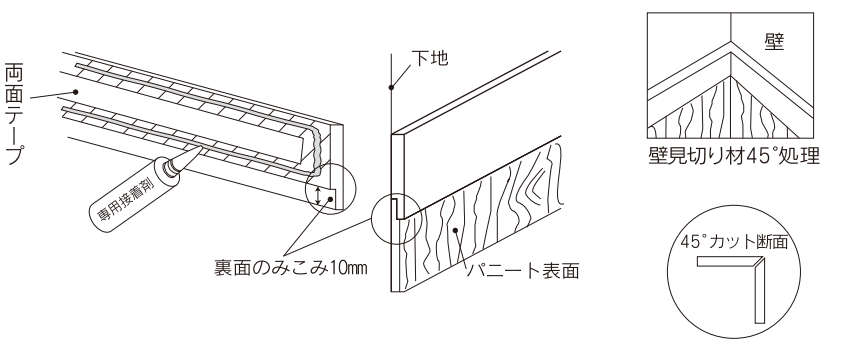
※巾木の入隅コーナー収めは、スライド丸ノコを使用して斜め45°で処理してください。

③目地材



- 目地材の長さは、壁見切り材ののみこみが10㎜あるのでパニートの高さより−10㎜短くして正寸カット(注4)してください。
- 予め目地材に貼り付けてある両面テープの離型紙を剥がします。
- 続いてパニート裏面端部に目地材を両面テープの粘着部分(注3)で貼り付けます。
- 次にパニートの裏面に両面テープを貼り付け専用接着剤を塗布した後、目地材の裏面にも専用接着剤を直線で塗布し所定の位置に貼り付けてください。
- その目地材の他辺に更に正寸カットしたパニートを寄せ合わせて目地材による目透かしを作ります。

④壁見切り材

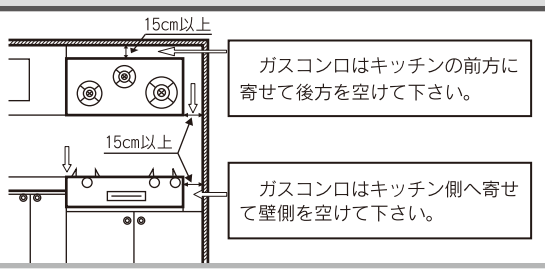


- 壁見切り材を正寸カットしてください。
- 貼り合わせたパニートの上面に壁見切り材を貼り付けます。
- 両面テープを壁見切り材裏面側の中央に貼り付けます。
- 続いて端部に専用接着剤を直線に塗布してから、下地に密着させてください。

※巾木と同様に壁見切り材の入隅のコーナー収めは、スライド丸ノコを使用して斜め45°で処理してください。

⚠ コンロ廻りに関するご注意

パニートと家庭用調理器具(4,600kcal以下)端部や機種によっては排熱口との距離は15cm以上確保して下さい。
15cm以上確保出来ない場合は30cm以上の高さの防熱板をパニートの表面から1cm以上離して取り付けて下さい。
また加熱された鍋類がパニート表面に直接触れないようにして下さい。
＊上記条件を満たしても直接炎がパニート表面にあたらないようご注意下さい。
＊ガステーブルはキッチン側(パネルから遠い側)、及び前面へ寄せて使用して下さい。ビルトインタイプ以外の場合は特にご注意下さい。
＊本注意事項は法令上の注意事項ではありません。コンロ廻りの設計に関しては火災予防条例に従い行って下さい。



お問い合わせ先　日本デコラックス株式会社
http://paneat.decoluxe.co.jp
カスタマーセンター
〒480−0103 愛知県丹羽郡扶桑町柏森前屋敷10 TEL(0587)91-3501 FAX(0587)91-3505
フリーダイヤル 0120-19-3501 ※携帯電話、スマートフォンもご利用いただけます。

MAN-005-5
2025.9